

The Song of the Trees

QHHT Client Stories by

Clare A. Joslin - Chris (Namaste) Turner

木たちの歌 - QHHTクライアントの体験談

著作者 クレア A. ジョスリン、クリス(ナマステ)ターナー
(第1部)

木の人生から得られた洞察と答え

原典 Clare A. JoslinによるLife of a Tree

クレア A. ジョスリン (QHHTプラクティショナー)
のウェブサイト: [Aloha Clinic - QHHT.org](http://AlohaClinic-QHHT.org)

クレアと彼女の素晴らしいクライアントが、見事に書かれた退行催眠の記録を公開することに同意してくれたことに、私(クリス)は感謝したい。この電子書籍には、QHHTのセッション中に、私とクレアが木と会話した体験がそれぞれ別に書かれてある。私のセッションの体験は未だ全てを書き記されていない。それはフェイスブックの [Past Life Accounts \(Clients Stories\) - Dolores Cannon QHHT Method](#) というグループで少しずつ公開していきたい。興味のある方は是非それを見ていただきたい。

クレア、この素晴らしい女性は特に体の異常はなかったがセッションを受けに来た。彼女には近所の人たちとの関係がストレスになっていた。不仲が続き、傷つき、ペットも死に、耐えられない近所付き合いに、その場所にはもう住みたくないと思っていた。でも彼女はその場所の所有者でもあり、生まれ育ったところで、庭園や菜園も長年かけて築いてきたので、その地を去ることが出来ないでいた。でも近所との付き合いに改善する術は見つからず、ストレスの溜まる生活が続いていた。セッションを行なうと潜在意識(高い意識)がいつもの事ながら見事なセッションに仕上げてください、私たちはそこから何かを学び癒しを得、私たちが求めていたものは何でも与えてくれたのである。

彼女が雲から降り(訳注:QHHTセッションでは通常雲に乗って過去世に行く)足に何を履いているか訊ねた。すると彼女はショックを受け、目に涙を浮かべた「あれー、私の足はかなり醜いものです」彼女はがっかりした様子で観察していた。そして彼女の足は木の根であることが分かった。QHHTのセッションで彼女が期待していたものとは全く違い、予想もしなかった展開になった。現状に慣れるにしたがって、話は深いものに進行していった。

彼女の話は美しく展開した。周りを見渡すと彼女の居たところは素晴らしいところであった。キラキラ輝く池が傍にあり、根はそこから水を得ていた。そのため多くの枝は緑に恵まれ、楽しく伸びていった。彼女の周りは青々とした草や他の植物が生い茂っていた。さらに気がつく、他の木の「お隣さん」たちも居て、彼女と華やかに調和していた。そこでの四季の変化を生き生きと経験できた。夏の豊富な緑の葉や、熟した果実を、それを求めてやってくる野生動物に与えることに、喜びと生きがいを感じていた。アリが皮に穴を開けちょっとかじる感じさえ、小さな喜びとして感じていた。

しかし秋が近づいて来ると、恐ろしいことがおきてきた。美しい葉は乾燥し落ちてしまう

のか？わあ、嫌だ！彼女は裸にされ、さらし者になるのを嫌った。だが勇気を出して前に進む選択をし、葉を落とした。でも秋は平和で自由に満ちていることが分かった。涼しく気持ちの良い風が彼女の裸の枝を優しく撫でてくれた、、、冬も静かで新鮮で休息と癒しになった。



静かに雪が降ったときにさえ、彼女は元気に生きている感じがし、地面の下ではミミズや他の動物たちが楽しく活動しているのを彼女の根がはっきりと感知することが出来た。

春の到来と共に感じる喜びは特別なもので、私にとって決して忘れることが出来ないものとなった！彼女も、生命の最大限の力が、根から勢いよく生きた川のように流れてくるのを感じた。その力は幹を通り、枝をに行き、木の芽をつけた。彼女の枝の中でエネルギーが満ち溢れ、体内の圧力が一気に上がり、そのときが来るのを待った。まだまだ、、、もう少し、、、今です！

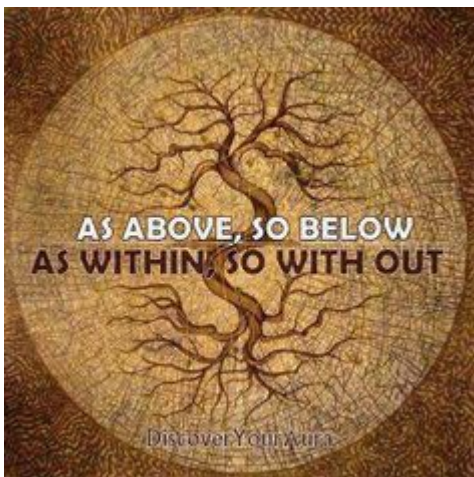
花は一斉に開き、見事な色、花の香り、命の力、、、小鳥や、リス、その他の動物や鳥たちが下から上からやって来るし、池には魚も居た。春の喜びは池の周りに溢れていた。それは美しく、調和し、豊富であった。

主なメッセージ

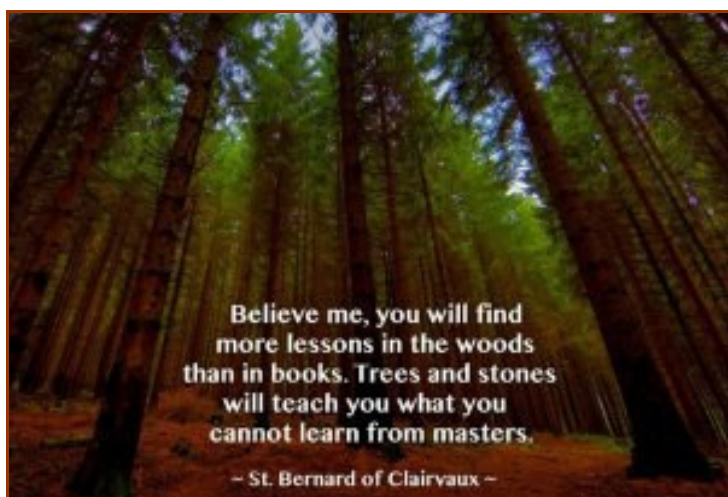


この木の人生で明らかになったことで興味深いものは、彼女が周囲を観察したことだ。彼女が周囲に生えている木々を見つけた時点で、彼女は「お隣さんたち」を見て驚き「隣の木々は私と同じです、私たちは同類です！」と言った。「私たちはみんな同類です、皆は私と同じです」と彼女は観察し、その発見に深い思慮と驚きがあった。

この発見が、実はこのセッションで得たギフトの中でも最も大事なものの一つであることが後に判明した。彼女が持っていた多くの質問に全て答えをもらったのだが、彼女にとって最も大きな問題は近所とのトラブルであった。その問題については愛情深い洞察と同情を持って対処された。



詳しい説明は避けるが一つだけ伝えたいことがある。それはこのセッションがあってから数ヵ月後、このクライアントから、**近所の人たちの関係では大きな進展があり平和な関係が築かれつつあるとの報告**をもらった。お互いに食事に招いたり招かれたりしているとの事だ。お互いの土地やペットを世話しあう新しい方法を編み出していると言うのである。そのため、お互いの生活にも調和と友情が育ち、夢にも見なかったものになっているそうだ。



この森の中には、本から学ぶより多くの学びがあることを信じてください。木たちや石たちは、賢人たちからは学ぶことが出来ない何かを、あなたに教えてくれます。

ー 聖バーナード・クレールボー

QHHT プラクティショナー: クレア A ジョスリン

QHHT プラクティショナーのブログサイト: [Aloha Clinic – QHHT.org](http://AlohaClinic-QHHT.org)

著作者 クレア A. ジョスリン、クリス(ナマステ)ターナー 翻訳者 誉田光一

